

2024年度 京都教区
「いのち・平和・環境の日」の集い



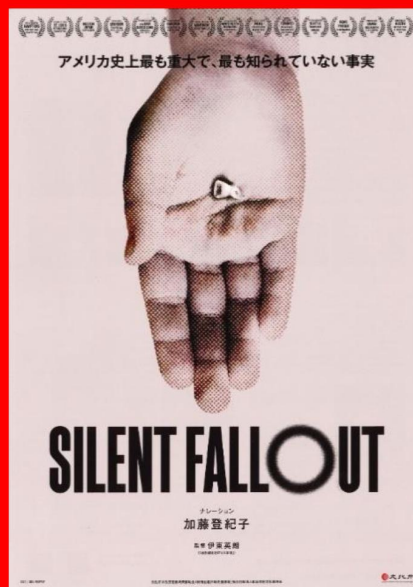
日本人監督が、アメリカ国民に突きつけるアメリカ大陸全土の放射能汚染

放射線を浴びた X 年後Ⅲ

サイレント フォールアウト

SILENT FALLOUT

—乳歯が語る大陸汚染—



上映会 & トーク

ゲスト 伊東英朗 監督

11月16日(土) 上映会 14:00~15:20
トーク 15:30~16:30

河原町カトリック会館大ホール

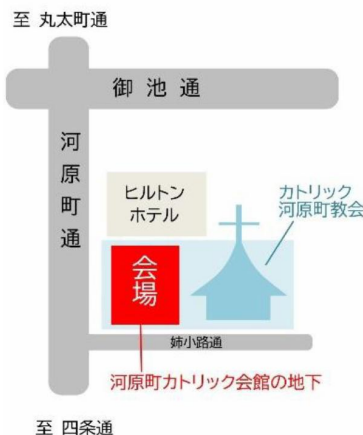
京都市中京区河原町通三条上ル下丸屋町 423

入場無料

*会場にて支援金のご寄付ご協力をお願いいたします。

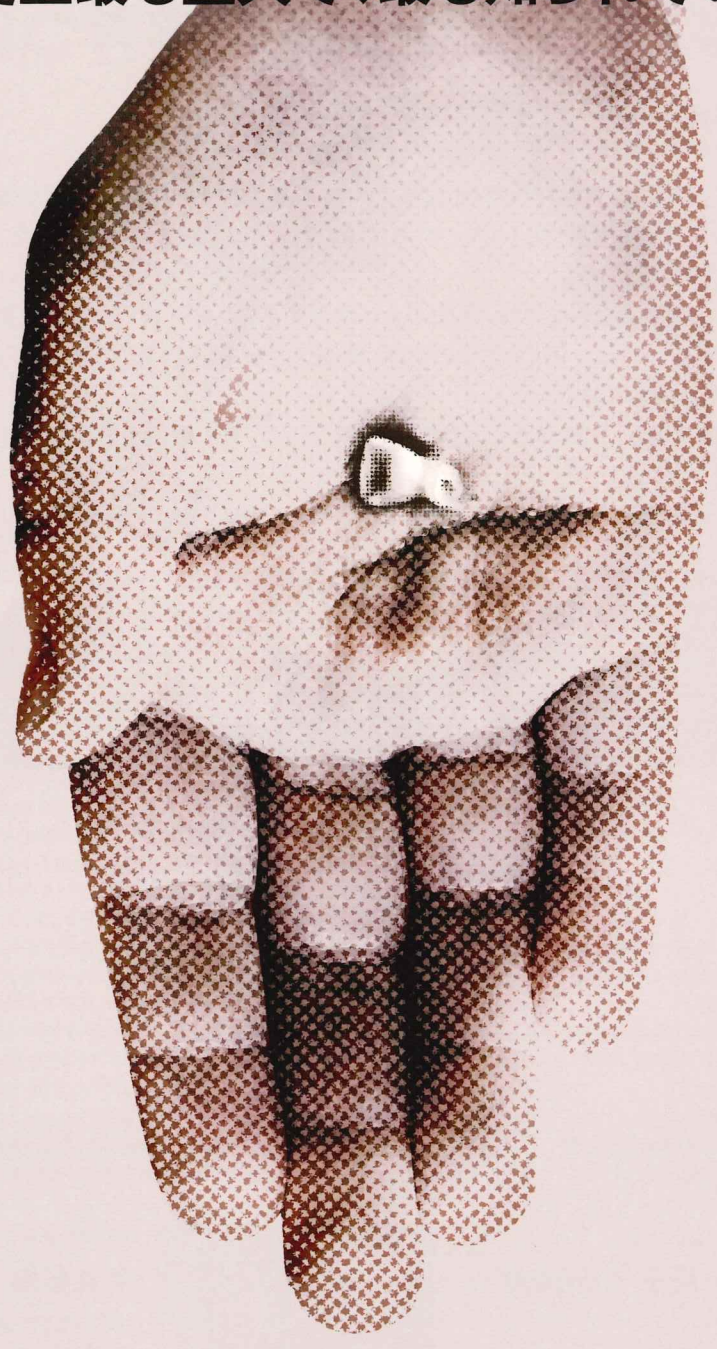
■問合せ 京都教区正義と平和協議会 TEL 075-223-3340
[月・火・木 10:00~17:00]

■主催 カトリック京都司教区 いのち・平和・環境委員会





アメリカ史上最も重大で、最も知られていない事実



SILENT FALLOUT

ナレーション
加藤登紀子

監督 伊東英朗
(『放射線を浴びたX年後』)

SILENT FALLOUT

[サイレントフォールアウト]

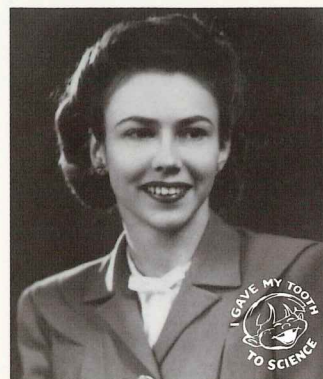
日本人監督が、アメリカ国民に突きつける アメリカ大陸全土の放射能汚染

日本は世界で唯一の被爆国ではなかった。アメリカ政府によって大陸に落とされた101個の原子爆弾。核実験によってアメリカ大陸は強く放射能汚染。しかし、アメリカ政府は、そのことを国民に隠した。「このままでは我が子が放射能で殺される」――。

立ち上がったのは、母親たちだった。中心となったのは、医師であり母親であるルイズ・ライス。放射能汚染はユニークな方法で証明された。それは、子どもたちの乳歯。母親たちは子どもの放射能汚染を証明。そして、その事実はケネディ大統領をも動かした。

現在、監督はアメリカでの映画上映を通し、米大陸が放射能で汚染したこと、その事実を政府が隠したことを知らせ、声を上げるよう促す活動を行っている。

目標はアメリカ議会を動かし、世界の放射能問題を大きく変えること。(2023年完成 | 76分)



ルイズ・ライス



SILENT FALLOUT | 映画祭出品・受賞歴

ハンプトン国際映画祭(アメリカ)公式上映
セントルイス国際映画祭(アメリカ)公式上映
ボストン ジャパン フィルムフェスティバル(アメリカ)公式上映
第11回 ARFF バルセロナ国際賞(スペイン)セミファイナリスト
国際ウラン映画祭(ブラジル、アメリカ)公式上映
スウェーデン国際映画祭11月 月間賞(スウェーデン) Outstanding Achievement
ARFF 国際月刊アラウンド国際映画祭(スペイン)月間賞 ARFF グローブ賞
パリ国際映画祭(フランス)佳作
マーヴェリック 映画賞 (イギリス) 最優秀編集賞
トロントドキュメンタリー 長編&短編映画祭(カナダ) Best Story賞
ニューヨークシティ国際映画祭 (アメリカ)公式上映

シアトル映画製作者賞(アメリカ)セミ・ファイナリスト
ローマ・プリズマ映画賞(イタリア) Monthly Picks賞
ハワイ国際映画祭(アメリカ)セミ・ファイナリスト
オースティン国際芸術祭(アメリカ)セミ・ファイナリスト
HIFFF-ハート国際イタリア映画祭(イタリア)ファイナリスト
レッドムービーアワード(フランス)公式セレクション
マインドフィールド映画祭 - アルバカーキ(アメリカ)ダイヤモンド賞
ジュリアン・ダビュック国際映画祭 JDIFF(アメリカ)2024 年度オフィシャルセレクション
アリゾナ国際映画祭2024(アメリカ)オフィシャルセレクション
ハーレム国際映画祭(アメリカ)オフィシャルセレクション
BLSTOFF(アメリカカリフォルニア)オフィシャルセレクション
ダブリン映画賞 セミファイナリスト
WILDsound Daily Festival ベストフューチャーフィルム
Houston Asian American & Pacific Islander Film Festival オフィシャルセレクション



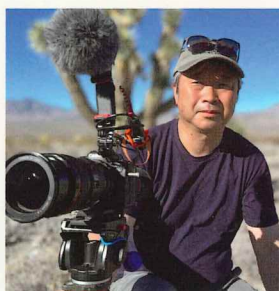
NARRATION | ナレーション

加藤登紀子 TOKIKO KATO

(日本語版)

アレック・ボールドウィン

(英語版)



DIRECTOR | 監督(ドキュメンタリー映画監督/TVディレクター)

伊東英朗 HIDEAKI ITO

1960年生まれ。幼稚園教諭から、2000年、テレビの世界に転じる。'12年、'15年、映画「X年後」シリーズを劇場公開。'23年、映画「SILENT FALLOUT」を製作。ハンプトン国際映画祭、セントルイス国際映画祭など、20をこえる海外映画祭で評価。第71回芸術選奨文部科学大臣賞、日本記者クラブ賞特別賞、ギャラクシー賞大賞、日本民間放送連盟賞最優秀賞などを受賞。著書に『放射線を浴びたX年後』(講談社)がある。

自主上映のご案内

上映会用媒体の貸出、及び伊東監督トーク(旅費・宿泊費はご負担下さい)は、無償です。作品を観た方に「支援金」を募って頂く寄付制となっております。あくまで任意です。家庭などでの数名の小さな上映会も大丈夫です。

ご支援のお願い

映画「SILENT FALLOUT」は、クラウドファンディングと文化庁の助成金で完成いたしました。国内はもとより、最終的な目的であるアメリカでの上映活動を展開するため、ぜひご支援をお願いいたします。

[振込先]

●郵便振替 01640-4-43617 伊東英朗
●伊予銀行 松山北支店 普通 1993369
株式会社伊東英朗事務所
代表取締役 伊東英朗

【お問い合わせ】 silentfalloutproject@gmail.com

✕ [silentfalloutpj](https://www.instagram.com/silentfalloutpj) @ [silentfallout_project](https://www.instagram.com/silentfallout_project)

「SILENT FALLOUT」公式HP
<https://fallout22.com>



公式HP



寄付